

私が「今日学んだこと」とは、どんなことだろう。

(またこの話を読んで感じたことを書いてみましょう。)

ひざが痛いなら、花売りに出る事をやればいいのにと、思ったけれど、いっしょに花売りに行って見ておは「あちゃんのひざ」を気にしてはからも、待っていてくれるお客さんがいる。おは「あちゃんもお客さんの事をいろいろ覚えていて、ほめてくれて、気にかけていた。に「お花を売ってお金だけじゃなく、人と人のつながりを大切にしている人」と思った。しんどい思いまで、おせいののかな?と、おは「お客さんとはおはして、おは「いい元気にしているんだ」と思いました。

祖母がただ単に商売をするために花を売っているのではなく、お客さんとコミュニケーションをとり、街の人々と交流をして、日々の暮らしに元気を与えてみんなに毎日楽しく過ごしてもらうためでもあるということ。私は学んだのだと思います。働くということは、トライやるウィークでも感じたことですが、生活のためにお金を稼ぐのももちろんだけど、人とのつながりを深め、自分も相手もお互いに快適に過ごすために必要なことだと私は考えるので、これからあと数年もしたらもう就職できるようになりますが、その時は人のためになる、役立つ、そんな職業に就いて、今まで支えてもらった人々へ貢献したいです。この物語を読んで、改めてコミュニケーションの必要さや大切さが分かったので、普段から地域の人や友人へ積極的にあいさつをしたり、会話をしたりしていきたいです。

舞は最初、花を売るだけの仕事なら他にもかたりは
たくさんいるだろうし、無理してしなくていいと思っていてけど
おばあちゃんの仕事の様子を見て花を売るだけでも、
花を通じてたくさんの人と関わって花を買って
くれる人によっておばあちゃんはかけがえのない
存在になっていくんだと知った。

僕はおばあちゃんに足も無いのに白川女を続ける木の
は、おばあちゃんによって白川女は自分の生活の大切な
一部になっていくことでおばあちゃんもパワーをもらって
いくのかなと思った。人との関わりがオチビコンだ
こともできてしまうんだから僕もこれから生活で
人とたくさん関わってパワーを与えてパワーをもらって
win-winな関係をつくってみたい。

おばあちゃんには花を売るだけじゃなくて、その
際に相手と話をしたりしていた。おばあちゃんには
相手のことをよく知り、相手に寄り添って話し
ていた。それか学んだことだと思ふ。真剣に話
をしてくれるから周りの人もおばあちゃんに戻
ってまたときに喜んで、体の心配をしたりはま
たりしていたんだと思った。相手に信頼され
るような人になる、っていうのは凄いなと少し
難しいことだと思ふ。でも、学校生活でも、信頼
できる人かいたらその人についていこうってなる
と思うから普段の生活から、自分のことだけじゃ
なく、相手のことも気にかけて関わっていくことが
大切だと思ふ。そのためには積極的な行動や周りに
いることを心掛けていってほしい。